

福岡の技術でモロッコのオリーブ産業と自然を守る！

～福岡市のエコステージエンジニアリング株式会社、JICA と委託契約を締結～

国際協力機構(JICA)は2月22日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業～普及・実証・ビジネス化事業～(中小企業支援型)」においてエコステージエンジニアリング株式会社(福岡県福岡市、中園英司代表取締役)が提案する「油温減圧式乾燥機の導入によるオリーブ搾油粕の資源化のための普及・実証事業」(モロッコ国)にかかる委託契約を締結しました。

オリーブの世界的産地として有名なモロッコでは、オリーブの生産量が順調に増える一方、オリーブ油の搾油過程で発生する果汁廃液や搾油粕による環境汚染が問題となっています。これらは処理が難しく、同国において一刻も早い適正な処理方法の確立が望まれています。

同社が提案する「油温減圧式乾燥機」を用いた技術は、「天ぷら方式」とも呼ばれ、果汁廃液や搾油粕を低公害化するだけでなく、飼料や燃料などへの資源化を可能にし、環境負荷の低減とオリーブ産業の付加価値向上を両立させる技術として注目されています。



油温減圧式乾燥機本体
(容量 20 m³、シリーズ最大級を誇る新型クッカー)



JICA とセブ流域公社とのミニッツ署名

今回の事業では、モロッコのセブ流域水利局と協力して、「油温減圧式乾燥機」をモロッコの対象地域に設置・稼働させ、オリーブの搾油粕から二番絞り油および脱油乾燥粕が生産可能であることをモロッコの関係者の前で実証します。そして、同技術の有効性および優位性を明確に示すとともに、搾油粕のリサイクル工場を軸としたビジネスモデルの策定を目指します。

※「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とするものです。

【本件に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 (JICA) 九州センター 担当：野路
TEL 093-671-8204 e-mail: Noji.Toshio2@jica.go.jp